

### 県政の動き

6月6日(金)～8月10日(日)

- 6月6日(金)～7月27日(日)  
★錦江湾クリーンアップ作戦
- 6月22日(日)～28日(土)  
★「ハンセン病問題を正しく理解する週間」パネル展
- 6月26日(木)～7月24日(木)  
★女性のための再就職支援セミナー  
rework
- 7月1日(火)  
★パニラ・エア 成田ー奄美大島線就航
- 7月4日(金)～6日(日)  
★「ぐりぐり&さくさく」新婚旅行
- 7月14日(月)～15日(火)  
★産業遺産国際会議
- 7月15日(火)  
6次産業化推進セミナー
- 7月16日(水)～8月6日(水)  
★第35回霧島国際音楽祭
- 7月17日(木)  
臨床研修医合同研修会
- 7月20日(日)  
薩摩藩英国留学生記念館  
開館セミナー
- 7月25日(金)～28日(月)  
鹿児島・岐阜青少年ふれあい交流
- 7月25日(金)～31日(木)  
★WeDoー男女共同参画による  
コミュニティ・デザインへのアプローチ
- 8月6日(水)～22日(金)  
「緑の学園」農業大学校  
オープンキャンパス
- 8月7日(木)～8日(金)  
かごしまこどもサミットおよび  
こども環境大臣任命式

★は写真入りで紹介

## 6月6日(金)～7月27日(日)

### 錦江湾クリーンアップ作戦



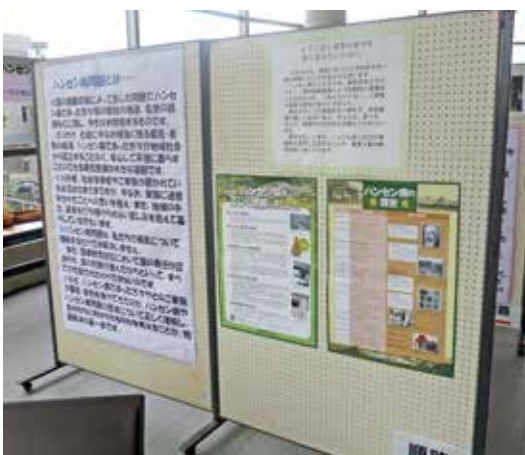
錦江湾クリーンアップ作戦は、錦江湾沿岸地域の環境保全を図り、県民の錦江湾の環境に対する関心を高めるため、広く県内から参加をいただき、湾岸地域が一体となって海岸清掃に取り組む活動で、毎年、夏の部と秋の部の2回実施している。

夏の部は、錦江湾に多くの人々が訪れる海水浴シーズンを前に、5月下旬から7月下旬にかけて錦江湾岸の8市町13会場で開催された。

各会場では、早朝からさまざまな団体や小中学生ら約1万人が清掃作業に汗を流し、約40トンのゴミを回収して、各地で美しい海辺が姿を現した。

## 6月22日(日)～6月28日(土)

### 「ハンセン病問題を正しく理解する週間」パネル展



6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」を含む「ハンセン病問題を正しく理解する週間」に合わせてパネル展・作品展を実施した。

ハンセン病問題の歴史を風化させることがないように、強制的な隔離政策がとられていた当時の写真のほか、ハンセン病療養所に入所している方のメッセージや作品などを展示した。

開催地の鹿屋市・奄美市・南さつま市の会場には、多くの方が来場され、ハンセン病や療養所の歴史の説明や写真パネル、入所者の作品に熱心に見入っていた。

6月26日(木)～7月24日(木)

## 女性のための再就職支援セミナーre work



結婚・出産・子育てなどにより就労を中断し、ブランク等による不安からスムーズに求職活動を行えない女性の再就職を支援するため、「女性のための再就職支援セミナー re work」を今年度初めて実施した。

受講生38人は、3日間18時間にわたり、これまでの生活や仕事での経験を振り返るとともに、それぞれに合った再就職を目指すに必要な知識などを習得した。

このセミナーに前向きに取り組むことにより、今後、より多くの女性たちが自信を持って再就職への第一歩を踏み出すことが期待される。



7月1日(火)

## バナラ・エア 成田-奄美大島線就航



成田-奄美大島線が7月1日から格安航空会社(LCC)のバナラ・エアにより開設されることを祝い、成田空港で伊藤知事をはじめ、森田千葉県知事、石井バナラ・エア社長などの関係者が多数出席し、就航セレモニーが開かれた。

また、奄美においても、空港での歓迎セレモニーや、奄美市内で開催された歓迎レセプションなど、歓迎ムード一色となった。

成田-奄美大島線は1日1往復、運航される。

観光の振興をはじめ、地域経済の発展に大きく寄与するものと期待される。



7月4日(金)～7月6日(日)

## 「ぐりぶー&さくら」新婚旅行



今年3月に結婚式を挙げた、かごしまPRキャラクターの「ぐりぶー&さくら」が、新婚旅行で徳之島を訪れた。

天城町の犬の門蓋、伊仙町の犬田布岬、徳之島の畦プリンスビーチなどの景勝地を巡り、ハネムーンを楽しんだ。

また、3町それぞれでウエディングショーを実施、駆けつけた多くの住民から祝福の声をいただいた。

徳之島は、合計特殊出生率が全国1位の伊仙町をはじめ、3町すべてが10位内に入ることから「子宝の島」とされており、「ぐりぶー&さくら」も

今回の徳之島訪問を機に子宝に恵まれ、今後は「大家族のPRキャラクター」としてさらなる活躍が期待される。



7月14日(月)～15日(火)

## 産業遺産国際会議



本県の旧集成館などを含む8県11市の23資産で構成する「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録に向け、7月14日から15日にかけて、国内外の専門家が一堂に会した、産業遺産国際会議を東京で開催した。

同会議では、世界遺産としての産業遺産の意義や管理保全上の課題などを各分科会で議論するとともに、レセプションにおいては、安倍晋三内閣総理大臣をはじめ、関係者約1400人もの参加のもと、平成27年度の世界文化遺産登録に向けて、大いに機運を高めることができた。

7月16日(水)～8月6日(水)

## 第35回霧島国際音楽祭



今年、35回目となる霧島国際音楽祭は、国内外から著名な音楽家や多数の受講生を迎え、みやまコンセールを中心に県内各地でコンサートや講習会などを実施した。

特別編成の豪華オーケストラ「キリシマ祝祭管弦楽団」による演奏から、気軽に無料鑑賞できるコンサートまで、多彩なプログラムが開催された。

また、アジアを代表する音楽祭として、さらなる認知度向上と鹿児島県への誘客促進を図るため、初の海外公演を台湾で開催した。

音楽祭開催期間中、来場者数は、1万7000人を超え、大盛況であった。

7月25日(金)～31日(木)

## We Do!男女共同参画による コミュニティ・デザインへのアプローチ



7月25日から31日までの「県男女共同参画週間」に合わせて、かごしま県民交流センターで講演会などを行った。

今年度は、コミュニティに焦点を当て、「We Do! 男女共同参画によるコミュニティ・デザインへのアプローチ」を全体テーマとして、村井琢哉氏(特定非営利活動法人 山科醍醐こどもひろば理事長)による貧困家庭の子どもたちに対する学習支援など、地域における子ども居場所づくりについての基調講演や分科会、小学生を対象としたワークショップを実施した。

また、第2次鹿児島県男女共同参画基本計画の概要の展示も行い、多くの来場者でにぎわった。